

# 2020年度 化学工学会 インターンシップ報告会

実習先：株式会社カネカ

金沢大学大学院 自然科学研究科

修士1年 吉本 彩乃

発表日：2021年3月11日

# インターンシップ概要

氏名	吉本彩乃	学年	M1
大学	金沢大学大学院	専攻 (専門)	自然科学研究科自然システム学専攻 (化学工学)
研修先 企業	株式会社カネカ	部署	プロセス開発研究所
研修場所	大阪工場(大阪府摂津市)		
研修期間	2020年10月5日(月)～2020年10月16日(金) 10日間(土日除く)		
研修 テーマ	溶融紡糸プロセスにおける溶融押出/紡糸条件が与える繊維物性の評価		

## 研修スケジュール

1日目	2日目	3日目～5日目	土日	6日目～7日目	8日目～9日目	10日目
安全教育 工場見学	実験	データ整理 分析	休暇	実験	資料作成 データ整理	成果発表

# ▶▶ 応募経緯

## 参加目的

- 自分の専攻、研究がどのように仕事に活かされるのか知りたい
- 実際に化学メーカーで働く姿をイメージしたい
- 社員さんたちの仕事内容や会社の雰囲気を知りたい

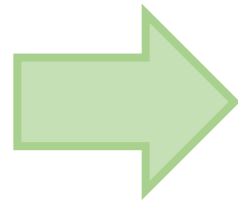
## 企業選択

### 興味

成形加工  
材料開発

### 自身の研究

バイオマス  
湿式紡糸  
混練



### 株式会社カネカ

- ・ 幅広い事業展開
- ・ 中間素材メーカー
- ・ 社会課題解決に向けての製品

インターンのテーマ  
⇒化学工学の専門性を活かした  
テーマを個別に設定

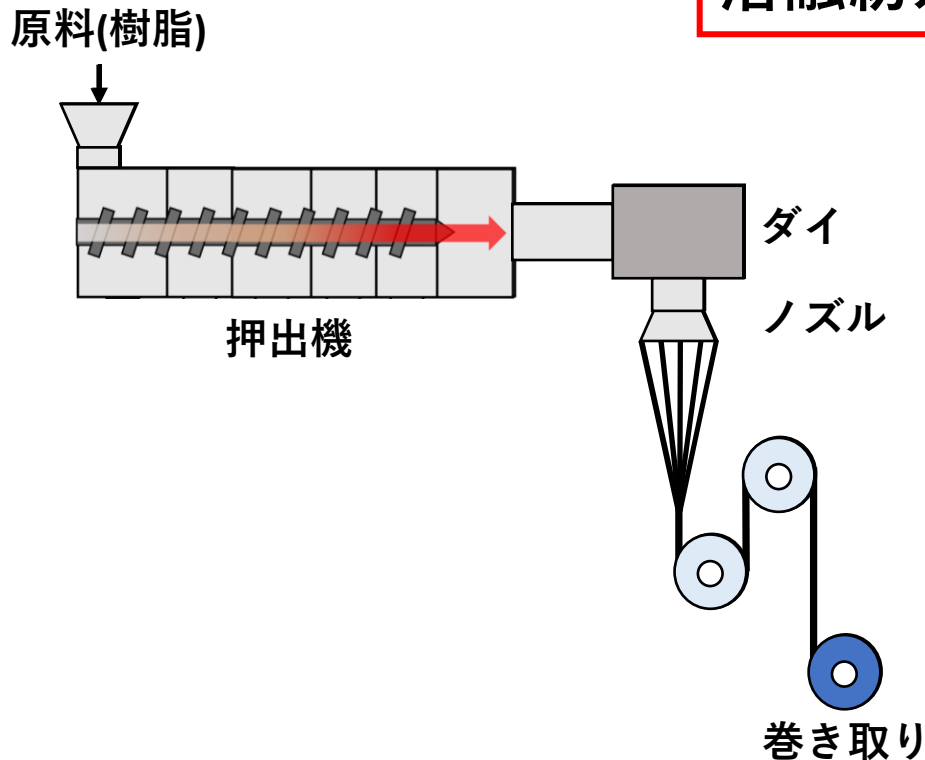
興味と研究内容を掛け合わせたテーマに取り組める!

# 研修内容

研修テーマ

## 熔融紡糸プロセスにおける 熔融押出/紡糸条件が与える繊維物性の評価

### 熔融紡糸



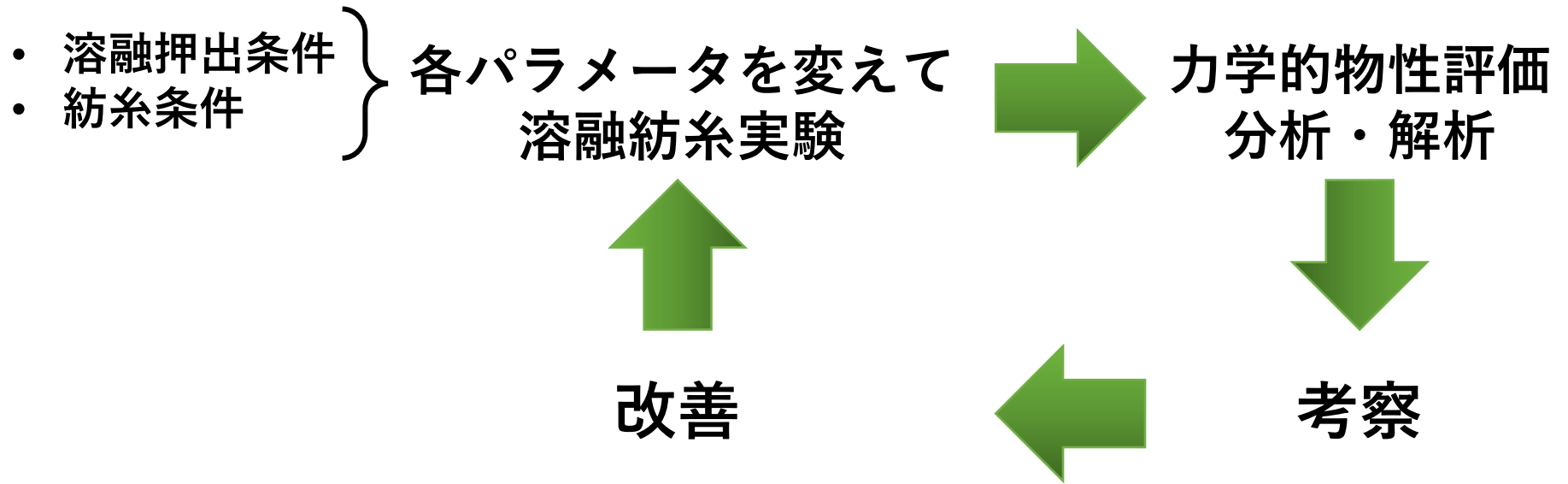
#### 熔融押出条件

- 押出機のスクリーパー回転数
  - 押出機/ダイの熔融温度
- etc.

#### 紡糸条件

- ノズル後の空気の温度
  - 巻き取り速度
- etc.

# 研修内容



どのパラメーターが紡糸した糸の物性にどのような影響を与えるのか



条件の最適化を行うことで、安定した製品の生産に貢献

実際の紡糸プロセスの改良工程を一通り体験し、  
生産技術開発の仕事について理解が深まる

# ▶▶ インターンシップを通して学んだこと

---

## ◆ 大学と会社の違い

- ⇒ ・ 規模の大きさ（ラボスケール→パイロットスケール）
- ・ 結果に求めること、優先順位

## ◆ コミュニケーションの重要性

- ⇒ ・ 様々な部署の人が関わりながら仕事をしている
- ・ 報・連・相の徹底

## ◆ 安全に対する意識

- ⇒ ・ 徹底した安全管理（手すりや工場内の移動）
- ・ 実験前の安全確認

# ▶▶ 後輩のみなさんへ

---

## ◆ 化学メーカーで働くってどんなイメージ？

- ⇒ ・ 専攻や研究の知識が十分に活かせる  
・ たくさんの人が関わって1つのモノを作り上げる

## ◆ 様々な化学メーカーがあるけど、就職先はどうやって決めたらいいんだろう？

- ⇒ ・ インターンに参加することで就活の軸の基準ができる  
・ 先輩社員さんからのリアルな意見やアドバイス

## インターンシップに参加すると...

- ・ 将来自分が働いている姿が想像しやすい！
- ・ 就職活動がスムーズに行える！

# 謝辞

---

インターンシップという貴重な経験の場をくださった  
株式会社カネカ様 ならびに 化学工学会様

ご多忙な中、丁寧かつ熱心にご指導くださった  
プロセス開発研究所の皆様

この場を借りて深く御礼申し上げます。

本当にありがとうございました。